

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年 04月 28日

事務事業名	交通安全施設整備事業				担当	建設部 建設課 維持係					
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				電話番号	0285-83-8148				
施策名	10	交通安全の推進				<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業				
基本事業名						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	道路法						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和29年度~)				
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2道路橋りょう 費	2道路維持費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の防止を図り、併せて交通の円滑化を目的として、交通安全施設整備事業を実施している。 交通量が多い危険な道路や事故の発生率の高い道路、歩行者の多い道路にガードレール等防護柵、道路照明等の道路施設を整備しており、施設整備後においても、施設の維持管理を実施している。 「あんしん歩行エリア」「ゾーンエリア」で、交通管理者と共に施設整備を実施する。 										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 22年度実績 要望、要請 調査 設計 請負 完成 維持管理	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
23年度計画 22年度と同じ	ア:ガードレール設置数	m	266	38	37	117	500
	イ:道路照明設置数	箇所	0	1	1	0	2
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然资源等 道路	ウ:区画線設置数	m	4791	6425	14292	3743	5000
	エ:						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全で円滑な通過交通の確保	オ:						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 快適で安全な通行ができる道路網の整備	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア:道路延長	km	872	874	1248	1294	1298
⑤総事業費の推移	イ:						
	ウ:						
⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	エ:						
	オ:						
⑦上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア:施設整備件数	件	11	10	11	10	10
⑧トータルコスト(A)+(B)	イ:						
	ウ:						
⑨人件費	エ:						
	オ:						
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	3,108	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
人件費	一般財源	千円	9,000	8,984	9,339	10,225	0
	事業費計(A)	千円	9,000	8,984	12,447	10,225	0
人件費	正規職員従事人數	人	3	3	3	3	0
	延べ業務時間	時間	30	30	48	48	0
人件費	人件費計(B)	千円	126	125	195	205	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,126	9,109	12,642	10,430	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		交通事故の防止及び減少を目的に開始した。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		道路の管理延長が増加している。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		通学路の安全確保についての要望がある。					

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全で快適な住みよいまちづくりを目指す市の政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 道路施設設置は道路管理者の義務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 道路の範囲に限定される。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 施設設置基準により仕様等が定まっている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 安全なまちづくりが出来ない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 道路管理者の義務的事業である。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設設置基準が定められている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託可能なものは実施済みである。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 道路は不特定多数の人が利用する施設であり、公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="ghost"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								